

# みのり

第117号

発行 令和5年3月14日

編集者 おおいそ学園広報委員会

## 走る先にあるもの

副園長 櫻井 英明

令和4年度は、少しずつ例年どおり園内及び学校の行事が行われ、コロナ前の日常に近づいています。今回は、「走ること」について考えてみたいと思います。

毎朝、子どもは起きたら、グラウンド周りを3周走ることから始まります。寝起きで眠くても、ご飯をすぐ食べたくても、ランニングが生活の第一歩です。体力のない子どもでも、ランニングのおかげで体力がつき、精神的にも強くなるようです。すぐに飽きてしまう性格でも、苦しいことから逃げてしまう性格でも、ランニングを続けることにより、子どもが変わってくる気がします。

12月、陸上部の活動で園内の駅伝大会がありました。これは寮ごとに走る区間の選手を決めて、タスキをつなぐ形式で進められました。状況によって、長い距離を走る子もいれば、選手不足のため2回走る子もいました。さあ自分の番、走るの一人ですが、周りに人がたくさんいます。走る姿はもちろん、もっと素晴らしいと感じるのは、走っていない子どもの姿です。走っているランナーに向けて、「頑張れ〜」「もう少しで前を抜けるぞ!」と他の子どもたちが声援しています。ただ勝ち負けへの思いだけでなく、一緒に努力する仲間に対し、自分を励ますように声をかける姿に、私には見えました。

子どもは課題があり入所して、その解決のため各自が努力しています。そして共に生活する仲間がいて、協力し助け合う日常の姿と重なって見えました。

1月に卒業生マラソン大会が行われ、小中学生9名が学園から参加しました。

ある中学生は、普段運動が得意とは思っていません。しかし、走ることにとても前向きで、日頃から自主的に練習に取り組み、時には園長と共に走るほど熱心です。当日も口数は少ないけれど、本人のやる気を感じます。8kmは普段学園でも練習していない距離で、不安な気持ちもあるはずですが、それを感じさせない軽快な走り、私たちの目の前を通過していきます。他の学園の子もいるけれど、競争というよりは何か自分との闘いを見ている気さえしました。「悔しい、2位だった」と口にしていた本人でしたが、今までの練習の成果を自分でも実感した言葉や表情を感じて、私自身もとても嬉しかったです。日頃の生活や行事ができるのも、多くの方々のご支援ご協力のおかげです。

皆さんに感謝申し上げるとともに、引き続き学園及び子どもたちへの応援をよろしくお願いします。



## 生沢分校通信

### 第3回前籍校・児童相談所連絡会

1月26日(木)、多くの方々にご参加いただき、第3回前籍校・児童相談所連絡会を実施しました。当日はとても寒い日ではありませんでしたがコロナ対策を考え、体育館で全体会を行い、その後各教室へ移動し個別懇談会を行いました。

今回は中学3年生を除く児童・生徒たちについて、前籍校、児童相談所、おおいそ学園、分校の四者が最近の様子や変容について情報交換を行うとともに、次年度に向けて具体的な見通しや支援について話し合いが行われました。

また、子どもたちは前籍校の先生や児童相談所の方々とお話ができたと喜んでいました。

話し合いの結果について、学園、分校でしっかり共有しこれからの支援に生かしていきたいと思えます。

(生徒指導担当 仲條)

### 中3生 進路決定に向けて

今年度は就職希望者1名、進路希望8名が、それぞれの目標に向かって、努力を重ねています。

就職希望者の生徒1名は、ハローワークを通じて就職準備を進めています。高等部実習を重ね、就職に向けての自覚が生まれてくれれば良いと思えます。

進路希望の生徒は、新型コロナウイルス感染症対策の行動制限が徐々に緩和され、各高校の学校説明会に参加することができました。中学校を卒業した後、どのような学校に進みたいかを真剣に考える機会となり、進路選択に大いに役立てていました。出願後は試験日が近づくと、真剣な表情で学習や面接練習に取り組んでいました。

進路決定するまではもちろん、その後も卒業に向け、体調をしっかりと整え、気を引き締めて過ごしてほしいと思えます。

(3年主任 大竹)

### 湘南ベルマーレ「サッカー教室」

12月16日(金)湘南ベルマーレフットボールアカデミーのコーチを2名お招きし「サッカー教室」を行いました。去年は雨のため体育館での活動になってしまいましたが、今年度は晴天のもと、校庭で思いきり活動することができました。

子ども達もベルマーレの選手から直接サッカーを教えてもらえる貴重な機会に、始まる前から胸を躍らせている様子でした。

活動が始まるとアイスブレイクを兼ねたウォーミングアップやコーン当て等、一つひとつの活動を真剣に楽しむ姿がみられました。最後には4チームに分かれ、ゲーム形式で試合を行いました。白熱する展開の中にも、フェアプレーを意識する姿が見られ、とても良い雰囲気で行うことができました。

活動の最後にはコーチから、「ライフパワー」を大切にして欲しいというお話がありました。ライフパワーとは「思いやり」「協力」「感謝」の3つの合わせた力のことで、ベルマーレがチームの中で大切にしているスローガンです。自分の事だけではなく、周りの友達に気を配って欲しい、そして何かあった時には勇気をもって行動して欲しいというコーチの言葉を、子ども達は真剣な表情で聞いていました。

サッカー教室を通し、サッカーのテクニックだけではなく、仲間と一緒に生活をする上で大切な心構えを学ぶことができました。

(小学部 長谷川)



### 中学校 学年末テスト

2月16日(木)、17日(金)の2日間で学年末テストが行われました。一年の総まとめのテストです。3年生の多くは、受験を終えたばかりですが、全員が真剣に問題に取り組み、有終の美を飾ることができました。

(教務 吉田)

## おいそ学園通信①

年末発表会 12/22



コロナ禍ではありますが、感染防止対策をしながら、今年も年末発表会を迎えて一年を締めくくることができました。児童は自分の得意を生かした出し物に取り組み、この日のために練習を重ねました。当日は大勢の前での発表となりましたが、緊張しながらも一生懸命演技していました。それでは寮の感想を紹介致します。

(梅寮 白石)

桂寮は、「ディアボロ」「沖繩の歌」「全児童職員による合唱」を披露しました。合唱は、クリスマスの歌や、ベートーヴェン作曲「歓喜の歌」をドイツ語で歌いました。初めは「ドイツ語なんて無理！分からない！」と言っていた子どもたち（大人も）でしたが、練習を重ねる中で、曲の美しさ、力強さ、平和と幸せを願う歌詞に魅了され、心を一つに、響かせることができたのではないかと思います。

(桂寮 松崎)

竹寮の年末発表会のコンセプトは「チャレンジ」です。

「本番でうまくいくかなあ」というハラハラ・ドキドキを抱えながら練習に励みました。バスケットシュート、「涙そうそう」、独唱、ジャグリング・ポイ、「マジンガーゼット」独唱、スポーツスタッキングカップ、ピアノ演奏など、見ても楽しく、会場からも手拍子や歓声が沸き上がりました。それぞれが新しいチャレンジを通じて、少し自信をつけた良い発表でした。

(竹寮 佐藤)

梅寮では、リフティング、ルービックキューブ、けん玉、歌など、皆が自分の得意技を披露しました。中には、二人や三人での出し物もあり、練習の中で、仲間への不満やケンカになることもありました。しかし、日が近づくにつれ、話し合ったり、一緒に協力したりして、子どもたちなりに向き合っていました。当日は大勢の前でしたが、みな堂々とした発表を見せ、観客を沸かしてくれました。子どもたちがこの経験を自らの自信にしてくれることを願っております。

(梅寮 白石)

### 各寮レポート(副寮長だより)

- 寒さが厳しくなり、近くの池に氷が張る時期になりました。桂寮は外遊びが好きな子が多く、寒くてもよく「外に行けますか」と言われます。皆で運動や遊びを楽しんでいます。今年は中学3年生が多く、進路を決めるため動いてきました。行先や進学先が徐々に決まってくる中で、皆、いろんな思いを持っています。どういう形で学園を送り出していくかを考えていかなければなりません。今の子ども達が退所してまた、新しい子が入ってきます。また新しい桂寮になっていくのだなと感じています。  
(桂寮 風間)
- 寒さが一番厳しいこの頃ですが、登校前のひと時、児童は嬉しそうに寮前の畑の霜柱を踏んでいます。そのすぐ横でカップに植えられたスナップエンドウの苗が寒さに負けずに成長しています。春になって畑に植え替えるとぐんぐん成長し、あっという間につるが大人の背丈を超えふっくら大きなサヤが実ります。このスナップエンドウ、毎年児童に大好評！採りたてをすぐに茹で、塩やマヨネーズをつけて食べると最高の甘さで手が止まりません。今年はたくさん苗があるので収穫が楽しみです。  
(竹寮 松本)
- 梅寮が新体制になってもうすぐ1年になりますが、とても雰囲気の良い寮だと思っています。私は昨年、高等部からの園内異動で梅寮の一員となりました。久しぶりの寮職員だったので、子ども達との接し方について戸惑う日も多々ありました。今では寮職員のフォローもあり、なんとか寮職員に戻れたような気がしています。今後も、児童の課題に向き合いながら、職員・児童共に笑顔の絶えない寮にすることが目標です。  
(梅寮 高橋)



## おおいそ学園通信②

### 卒業生送別マラソン

～黒いタンクトップに短パン～

卒業生送別マラソンでおおいそ学園の新しいユニフォームがお披露目となりました。

今回エントリーした種目は、小学生4km、中学生8kmです。大半の児童が今まで走った経験がなく、普段の練習でも結局走る機会がありませんでした。「大丈夫かな」と不安の中、大会を迎えました。当日は寒くて雨が降り、コンディションは決してよくはありません。けれど、条件は皆一緒、一人ひとりの頑張り次第です。結果は「全員完走！」中には上位に食い込む子もいました。走り終えた表情は、ずぶ濡れになりながらも達成感、充実感で溢れているように感じました。

全員が『黒い稲妻』となり、自分の力を発揮した一日でした。

(竹寮 松尾)



### あすなる作品展

2月4～5日、あすなる作品展が開催されました。コロナ禍の影響であすなる交歓会は今年度も中止となりましたが、作品展としては見学も可能となり、ほぼ通常通りの実施となりました。

参加団体は計29施設、会場いっぱい作品が並びました。どの作品も力作ぞろいで「上手」「すごい」という声が会場内で聞かれました。その中でおおいそ学園の児童の作品はというと、他施設にも負けず劣らずの素晴らしい作品が並びました。絵画、書、工芸作品など計35点を出展し、今回は絵画で4点、工芸で5点の作品が銅賞に選ばれました。来年度こそはあすなる作品展と交歓会の両方が開催できることを願うばかりです。

(竹寮 松尾)



【銅賞入賞者】風景画 (S・S君 中1) 風景画 (E・H君 中1)

風景画 (S・T君 中2) 風景画 (T・A君 中3)



**編集後記：**今年度は新型コロナウイルスの行動制限が段々緩和され、様々な行事が再開することができました。どの行事も思い出に残るものとなりました。来年度も、児童と職員が丸くなって頑張っていきたいと思います。